# 京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲三ケ月前金壹圓▲郵稅一ケ月十三錢

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲報酬別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

發行兼編輯人 高木久馬

印刷人 松久神一郎

京城西署管内小門區（電話六六二二）

發行所 京城新報社


## 京城居留民公文

京城居留民團告示第一號

居留民團稅賦其他ノ公課納入ニ關シテハ[illegible]ニ於ケル書債ニ因リ便宜ヲ[illegible]ニ其ノ取立ニ從事セシメ[illegible]ルモ右ハ正當ナル理由ナクシテ往々不測ノ損害ヲ蒙ルノ虞アリ[illegible]以テ來ル四月一日ヨリ金錢貸借ノ取立ヲ厳止スルト同時ニ[illegible]ノ期限内ニ[illegible]ノ書債ニ督促ヲ爲シ尚本指定ノ期限内ニ納付セサル書ニハ滯納者分執行ノ不幸已ニ亟ルベキヲ以テ自今納稅告知書ノ交付ヲ受ケタルトキハ直接會計役ニ納付シ必ス納期ヲ怠マサル様特ニ留意セラルベシ

明治四十三年三月二十九日

京城居留民團民長 古城菅堂

## 京城居留民團告示

京城居留民團告示第十一號

來ル四月一日ヨリ當民團立各小學校通學區域左ノ通タリ之ヲ定ム

明治四十三年三月三十一日

京城居留民團民長 古城菅堂

小學校通學區域

櫻井尋常小學校 日出尋常高等小學校 南大門尋常高等小學校

鷹岡新町 大和町一 本町一二二 東大門通三三

鷹岡新町 日の出町 本町一裏通 紅葉町

御町一二三 泰山町一二三 初音町

太和町一二三 壽町一二三 仲町

本町丈六十 南山町二三 二葉町

岡泡町 光隈門通三 大井町

櫻井町 黄金町 舟橋町

花園町 竹園町 林町

櫻井町 養草町 玉川町

東雲町 長橋通三三四 惠化門通

昭義新町 佐城臺 敦化門前通

蓬萊町三三四 黄橋通

御成町 古市町 吉野町 青葉町 岡崎町

漢江通二三四五六七 水道町二三 三坂通二三四五六 山下町一二 小松通二三四五 柳町一二三 櫻町一二三

明治四十三年三月三十日

京城居留民團民長 古城菅堂

記

區域

漢江通一、二、三、四丁目 小松通一、二園 三坂通一、二、三丁目 柳町一園 山下町一園 櫻町一園 水童町一園 通稱瓦町一園 通稱田町一園 通稱南山下町一園 通稱大林町一園

以上

京城居留民團告示第十三號

明治三十九年京城居留民團規則第一號京城居留民團規則公告式第二條ニ依リ大韓日報、京城新報、朝鮮日々新聞ヲ以テ公告式登載新聞紙ト定ム

明治四十三年四月一日

京城居留民團民長 古城菅堂

## 寄書

## 隨感隨筆

石井生

三十一日發行の京城日報に「韓國と基督教」と題する一文を收む、其前段に曰く「頃日の内地新聞を見るに著しく該問題（即ち外國宣教師の行動に關する）に就て論及せられ今更の如く世人の注意を喚起せるものゝ如し而かも其論議する處は在韓宣教師の跋扈を痛論し排日的行動あると誹議せざるなし吾人は全然之等の言論に同意する能はず」と、而して京日子は之れを以て世人の課解に出づとし、斯の如き觀察が我本國の言論界に傳へらるゝは洵に氣の毒なりと云へり。

京日子は抑も何の據ありて我内地新聞の言論を誤解に出づるものと爲すや矣、又内地新聞が宣教師が排日的行動を爲せりとの誹議は吾世人の誤解を根據とし、若くは漫然憶測無實を誣ゆるものと爲す乎、信じて斯の言を爲せし乎、嘗た御用紙の立場として爲さざる能はずして之れを爲せし乎、或又統監府の内意を受けて、宣教師の如何なる行動を以て日本人は排日的行動と見做すか内地新聞及世人をして悉く其の事實を指摘せしめんが爲めなる乎、何れにもせよ、斯る文字を掲げて世人を惑にし宣教師に編るが如き態を爲すは、吾人の叱責に値す。

次に京日子が韓人傳導師の行動を非難せるは可し、併しながら傳導師の行動が能く排日的意味を帶ぶる韓人を基督の名の下に集め得る事は宣教師の決して厭はざる處なるは事實之れを證明す、斯は政治的關係と宗教とは自ら別個の條理に支配さるべきものにして何等教義に違ふものなしとせんも、彼等宣教師の或者が治外法權の楯の陰に信徒たる韓人の非違をだに庇ふは決して稀有の事たらざるに於て、宣教師の心中傳導師の行動を容せるは自明の理とすべく且同時に彼等が治外法權の楯を突くことあるを以て見れば、彼等の行動と雖ども尚は其言ふ處に似ず、國家的關係を超越したりとは云ふべからず吾人は京日子が此點に論及せざりしを遺憾とす。

京日子は尚ほ未段に於て曰く「一方傳道師が孜々として傳導に從ひ布教に努め偏へに人道の爲めに拮据奮勵せる其一方に於て片つ端より其功業を破壞し其神聖を汚瀆し行くは實に韓人傳導師なりとすること、而かも傳導師の斯る行動を許容せる宣教師の雅量は恰も京日子が宣教師の勞苦を欽仰するの雅量と相如く、若し或は京日子が氣取る事分に過ぎ、巧言を以て宣教師に油をかけたる積りなるやも斗られざるも、今の時節は手は食よ苦もなし、万一又吾人が前に記したるが如く、京日子にして統監府の内意を受け、世人をして宣教師の行動を指摘せしめんとするの意あらば、吾人も亦朔か協力の勞を取らん、京日子以て如何と爲す。

## 鐵道院の縮小說

國有鐵道は二回の改革を經て冗員を淘汰し經費を節減すると共に中央集權制を改め地方分權主義に改め五管理局を設き殺意改善に怠りなかりしが已に地方分權主義に則る以上は國鐵中央部則ち鐵道院本部の現在は其組織徒に大に過ぎ寧ろ事務渋滯の恐あるを以て後藤總裁は更に第三次改革を斷行し同院官制に一大斧鉞を加へ延て生ずる冗員淘汰を爲し行はん決意を有し目下頗る秘密隊の捜索嚴重なる爲め進退に窮し所持の武器を棄置して土民に紛裝する者多き由にて捜索の結果三月二十七日楊州郡於等山面に於て銃一、刀一を同日鬼山郡多崎面に於て銃一、刀一を同二十八日永平郡西面に於て刀一を同二十九日抱川郡青巖面に於て銃一を押收し又永平郡西面に於て尹敬有（五十年）なる者を逮捕したるが彼は明治四十年十二月頃より今日に至るまで義兵召募將と稱して民財を掠めつつありし者なりといふ。

遙かに前傍山御陵と拜し奉る

## 地方通信

▲平壤通信

●江岸工事測量 當觀察道にては當地新市街に接する瑞氣通終點目下鐵業所の所在地沿岸より大同江流に沿ふて普通江合流點に到りて夫より更に普通江に沿ふて平壤を一週せんとする一帶の測量に着手しつゝあり從て未だ具体的の成案ありと云ふにはあらねど聞くが如くんば現在の五部一所制に併合を行ひ同時に本部の職制をも改め之に伴ふ職員の減少を期するにありと。

●賊の兵器押收類々 京畿、黄海二道に出没する匪徒は捜索に於て漸期となりたる下士以下上等兵は約百名ありし趣きにて内約三分の二は再役に服し除隊となりたる者は三十七名なりしが右に就き之が補充員四十名は前當分隊へ着したれば數日分隊長水間少佐は之等の新任憲兵に對し職務上に關し及び今後の執務方針等に就て訓示す所ありて何れも各自任地へ向け出發したり

▲小學擴張と職員增加 當尋常高等小學校にては修學兒童の增加に伴ひ校舍の狹隘を感するに至りたるを以て過般新に之を增築すると共に兒童の學級數をも增加し隨て職員をも增加する事となりたるが内一名は過日既に任命あり又更に一名は近日着校任命ある筈なるが右の增加を要する教員は全部五名にして四十二年度に於て二名四十三年度に於て三名を增加する事となり居れるが二名は前記の如く既に全く決定したれば殘部三名を存するものとして既に内定し居ると云ふ。

▲平壤駐屯軍交替 第六師團の先發隊は既に來壤したるが平壤駐剳の第十一旅團、歩兵第二十三聯隊と交替すべきは初め第三旅團、歩兵第六十五聯隊の豫定なりしところ其後變更し第三旅團司令部歩兵第二十五聯隊來壤駐剳する事となり旅團長中村無一氏は香川旅團長と聯隊長森知之氏は楊本聯隊長入れ替り而して新聯隊の副官大尉保田等同大隊副官中尉鈴木保治、中尉大島準同小川倍平諸氏と下士十一名は先發隊として去る二十七日着壤し兩副官は直ちに第二十三聯隊との引續準備に着手し兩中尉は地方派遣兵に關する準備をなしつゝあり尚は第三旅團司令部、歩兵しつゝあり尚は第三旅團司令部、歩兵第二十九聯隊は四月十四日釜山に着し鐵道便にて十六日着壤すべき筈なり

▲近時の穀商況 結氷中の平壤に於ける雜穀にして各銀行興業會社の倉庫或は穀物商人所有の倉庫等に貯藏せるものは解氷と同時に米、大豆、小豆は坂神地方に向け船積として輸送し平壤在品は已に當用口のみとなり粟も亦船積便により元山方面に結氷中貯藏の殘分を輸送すべき豫定なりしに昨年粟の改種時期近くに至りて成川、順川地方に水害あり爾來同地方に於て粟の需用最も嫌んなる爲め元山方面への輸送は沙汰止みとなり目下平安農工銀行に一千叺の倉入あり而して平壤に集る粟は何れも中和、黄州附近の產に係る

▲觀光團計畫決定 既報の如く朴平壤郡守は去る廿八日平壤郡衙内に郡内に於る資產名望ある韓人を召集し有志韓人日本觀光團計畫に關する講般の協議會を開きたるが其の結果尹泰中、李德煥、朴鼎錫、金東元、鄭在命、金鼎祿方興因、朴鳳輔、李炳斗、方遠亨、張永輝、李泰俊諸氏を發起人とし勸誘其他に種々盡力する事となり李觀察使、大木道會記官、若松理事官、李事務官朴平壤郡守、小原鐵道參事補等參與員として力を添ゆることゝなり加入申込所を大和町平壤日報社内と定め平壤郡内の外京釜線沿線各地方の韓人等にも加入を許すことゝし目下黄州、安州、新義州方面にも勸誘中なるが加入申込期限は四月十日迄にして行程十九日間費用一人金五十圓宛とし一客車を借切る豫定なり（三月卅日）


廣告

營業品目

琴、三味線、尺八

洋琴、鐵琴、橫笛

月琴、明笛

三味線張替修繕並に小道具類は特に大勉强

壽町三丁目（本町五丁目郵便ポスト前）

米川三味線店

キッコーマン 最上醬油 龍 線印 仁川 日本醬油株式會社

最上醬油

仁川港釀造場 三巴醬油釀造場 電話七六六番

發賣元 三巴酒店支店 龍山本町三丁目 電話五六四番

發賣元 三巴酒店 京城本町壹丁目 電話七五三番

廣告

民事刑事其他事件の鑑定 債權取立契約書案論會社定款の作成

右迅速確實に依頼者の滿足を旨とし事務取扱候間事件の大小を問はず御來談あれ

京城裁判所前

金澤法律事務所

●最上醬油●

龍山祝町（電話二三八番）

高橋醬油釀造所

廣告

京城龍山 ●年廿六歳保證人有御座候上●銀行會社商店及官衙に雇ひ度者あり京城鍾路龍山支局に（若松可）姓名あり

●開店御披露

東京手打 生蕎麥及天麩羅

龍山驛向ひ（電話六〇五番）

雞林庵

●最上醬油●

龍山祝町（電話二三八番）

高橋醬油釀造所

廣告

京城本町壹丁目 三巴酒店

電話七五三番

發賣元 三巴酒店支店

龍山本町三丁目 電話七六六番

發賣元 三巴醬油釀造場

仁川港

最上醬油

開業御披露

會席御料理 仕出し

今般左記の處へ開業仕候に付御遊旁御來車被下度候

北米倉町（元岡の家跡）

品川樓

電話千六百廿四番

生儀多年福岡醫科大學皮膚科教室（皮膚病梅毒泌尿生殖器）奉職の處今般辭職左の處に開業專科教室

皮膚病 黴毒 癩病 勝胱病 生殖器機能障碍の診療に從事

診療（午前自八時午前二時迄 夜間自五時九時迄）

入院隨意

電話一一七三番

南大門通三丁目

支那領事館前通

京城郵便局後

佐藤皮膚病院

院主佐藤伊

シガー、ブドウ酒、ブランディー、洋菓子、果物カン詰類、シガレット、シャンピン、ウヰスキー、キリンビール、タンサン

卸小賣　歐米雜貨洋酒食料品　洋煙草類銀屬美術品

直輸入商　京城本町　辻屋　本店電話二四八　支店電話三六六　二三丁目

## 京城新報

# 景氣恢復之曙光（下）

金融は過日の本紙に於て景氣恢復の曙光見わんとすと云つた、而かも金融が斯る断崖ケ爲すは決して架空にあらず妄信にあらず、全く斯く断言すべき多くの理由を有するからであるのである。

況づ何事を措ても言はざるべからざるは物窮すれば必ず通ずと云ふ事である。窮して通ぜざれば蔵詰りとなるのである、半島の經濟今や窮の絶頂にあるのである、絶頂は峠の天邊である、登り詰めた以上は必ず降らざるを得ぬのである、而り今や降るべき時期に到着して居るのである。

半島過去の經濟は實に混亂して居たのである、此混亂の狀態に在つては何人も安心して投資し能はぬ、一寸金融の方から云つても貸手が少ない、借手が多い、ソコへ以て危險が多い、利子は自然高からざるを得ない、世人動もすれば金利の點から金貸業者や銀行を批難する、併し金利の高いのは貸手の方に安心が無いのと、貸出資金に限りがあるからであるのである、若しも貸手に安心が附き資金が豊富となつたとすれば如何、氣の毒ながら現狀顛倒貸手は借手に向かつて叩頭再拜日も之れ足らざるに至るは必定であるのである。

見渡すところ半島の山河北較的荒涼の光景を呈すと雖ども仔細に吟味すれば起すべき生産事業は澤山にあるのである、而かも各種生産事業が一向弄ぶ萌かぬは金利の高き爲であるのである、豪米で七八朱内地で一割の利益を生む事業は有利なる業と目されて居るのである、而るに半島の現狀は如何、農業に於て一割五分、鑛業に於て一割二分其他何々事業に於て一割五分迄の事業は澤山にあるのである、而かも此一割五分迄の事業が何せ國を擾が得ぬかと云へば夫れは金利が高いからであるのである、見よ現狀に於ては銀行の日歩が三錢五七厘である、金貸業者の分が殆んど二割平均である、而して朝鮮側は之云へば銀行日歩が五六錢普通貸借が年四割である、以上が現在半島に行はる利率である、二割の金利の下に一割五分の事業を起して何の手取があるか、半島生産業の振はぬのは寧ろ當然であるのである。

半島經營とは前記一割五分の事業を成立たせると云ふ事である、其手段として金利を下げると云ふ事である、一割五分の事業に從事するものが飯が喰へる樣になれば半島の景氣が恢復したのである、之を大にしては半島の經營が成効の域に達したのである、茲に於てか金融は金利の引下げを絶叫せざるを得ない否な絶叫する迄もなく東拓金融部は正に眞力を金利の引下げに致さんとし目下其準備を爲しつつあるのである。

東拓會社は近き將來に於て二千五百萬圓の社債と五朱利で起し得るのである五朱の資金を八朱に貸附ければ會社の利益は十分である、果して然らば利率八朱の長期貸附に因つて一割五分の生産事業は油然として半島の各地に勃興するのである、此時に於ては最早地方に暴徒がなどと尻込をするものが無くなるのである、見よ利益さへあれば噴火の爲に住民全滅せる島島にさへ行くものがあるではないか、況んや景氣が直れば暴徒の危險も自然に消滅するの必定なるに於てをやだ。

只に東拓の耶業資金供給許りでなく韓銀の低利商業資金供給も其實行亦た近きにあり、だ、之れに加ふるに內地事業家の資金を投ぜんとするものが正に續々現はれんとして居る、例を擧ぐれば和田博士井の角等の斡旋で二百万圓の義線工場が近き將來に於て愛二補附近に現はれんとして居る、某々資本家に仍つて靈峯、黑鉛の採取は大々的に實行されんと爲て居る、しかのみならず半島の政治的位置も遠からず極まると云へば經濟組織茲に全く一變し苦がき第一期を過ぎて發達の第二期に入るは蓋し必定であるのである。

經濟組織の變革は景氣の恢復を意味す決して待遠しと云ふ勿れ、五更已に過ぎて曙光見るんとす、夢油斷すべからずであるのである。

## 東京電報

▲岩倉公爵の叙勳　宮內大臣岩倉具定公危篤の趣き天聽に達するや特旨を以て左の通叙勳の御沙汰ありたり（一日夜）

補育總裁公爵　岩倉具定

叙從一位授旭日桐花大綬章

▲岩倉公爵の薨去發表　岩倉宮相昨夜俄に胃潰瘍を起し腹中多量の出血あり午後十一時終に薨去せられたり（同上）

▲壽貝勒の御觀覽　壽貝勒殿下には本日陸軍省、陸軍衛戍病院を觀覽今夜は後藤逓信大臣の晩餐會に臨席せらるべし（同上）

▲正金貸付の開始期　政府の特別命令により横濱正金銀行大連支店が滿洲唯一の金融機關として長期貸付を營ひの譯は倉よ決定して五月一日より滿洲各地支店として在滿洲中流以下の本邦商人に對し土地及建物其他の建築物を目的とし四百萬圓以內に限り長期貸付を爲すとなれり（同上）

▲戴澤殿下の御土產　清國貴賓戴澤殿下より我陛下に御贈進相成りたる御土產品目錄は左の如くなり

天皇陛下に

一、壓條山水人物圖瓶　一對

一、琺瑯「此間電文不明」　一對

皇后陛下に

一、壓漆硯盒　一對

一、琺瑯觀音像　一對

▲下旬の外國貿易額　三月下旬の外國貿易輸出千三百六十七萬七千圓輸入千百四十二萬二千圓にて輸出二割一分輸加輸入二割六分の減少を示せり（同上）

▲東宮殿下の行啓　葉山御滯在中の東宮殿下は昨一日横須賀へ成らせられ軍艦薩摩及各工場を御巡覽の上東京へ御還（相成る（一日）

▲故岩倉公の葬儀　一昨夜薨去したる岩倉宮內大臣の葬儀は來る六日海晏寺に於て執行す（同上）

▲宮相後任の決定　岩倉宮相の後任は渡邊次官に決し本日左の如く宮中に於て親任式擧行せられたり（同上）

宮內次官從二位勳一等子爵渡邊千秋

任宮內大臣

▲鹽田整理方針　議會の協賛を經大藏省にて制定中の鹽田整理規則の內容を聞くに十箇所並に行德和田に鹽田を存置するの外全部製鹽を禁止する筈尙は本年度は東北より開始し四十四年度西南に及び全部の整理を完行すべし（同上）

▲補育總裁の後任　韓太子補育總裁は新任宮內大臣渡邊千秋氏に決定せり一兩日中發表さるべし

▲在外學校令の改正　法律第三十四號中在外指定學校職員退隱及扶助料改正の件公布されたり（同上）

## 哈爾賓電報

▲清國移民の增加　山東省、直隸省各地の下級勞働者等當地を經由して黑龍江省內の開墾地に移住する者近來非常に增加せり（一日）

▲膠州灣總督の通過　獨逸租借地膠州灣總督トツツベル氏は獨逸より歸任の途次當地を通過し南滿線にて任地に向ふ（同上）

## 歐洲電報

▲水產博覽會の開塲　海物生理學者としてモナコ皇帝の主催にかゝる水產博覽會開場式には佛國外相ビション氏及び獨逸ジョセフ海軍元帥代表者として參列ビ氏は佛國の平和政策を說きジ氏は獨逸皇帝の名代として同博覽會の成功に關する獨逸國の希望を述べたり（一日）

▲アビシニア帝崩御　アビシニア國帝ベネリックは崩御せられたりと雖ども全國平穩なり（同上）

▲希臘軍人の同盟會　希臘軍人同盟會は解散せり又同國議會に於て國民大會召集を禁告せる詔勅の朗讀ありたり（同上）

## 雜報

### 未開墾地の整理

未墾地利用法發布以來該法に基き昨年末日迄に許可されたる人員は二百九十人反別二万一千八百三十三町歩に達せり今之れを種別に記さば左の如し

| 種別 | 人員 | 反別 | 許可料 | 賃貸料 |
|---|---|---|---|---|
| 京畿 | 一、三五五 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 |
| 江原 | 一、四〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 |
| 忠南 | 一、九七一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 |
| 忠北 | 一、一一一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 |
| 平南 | 一、一一一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 |
| 平北 | 一、一一一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 |
| 黃海 | 二、四五五 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 |
| 慶南 | 一、八三七 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 |
| 慶北 | 一、一一一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 |
| 全南 | 一、一一一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 |
| 全北 | 一、一一一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 |
| 咸南 | 一、一一一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 |
| 咸北 | 一、一一一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 |
| 合計 | 二、九〇一 | 一、五九一、九三一 | 五、〇〇一、〇〇一 | 一、〇〇一、〇〇一 |

●警察部長方面會議　引續き開催中なる內部警察局警察部長方面會議は昨二日を以て終了すべき豫定なるが一昨一日は安住司法巡査記官の刑事警察に關する講話ありたる後松井局長の路間に係る犯罪申告を勵行せしむる方法、鹽業及盜賊に關する實況、期限放棄[illegible]に關する職務執行の狀況等を議了し夜に昨二日は各警察署長の巡閱規程に關する路間案及寄附金募集に關する伸會計事務に關する件を付議し散會せしと云ふ

●中學校職員の任命　四月一日付を以て新設統監府立中學校職員に左の任命あり

正五位勳五等　隈本有尙

任統監府中學校教諭兼統監府中學校教諭

叙高等官四等

任統監府中學校教諭叙高等官六等　小寺甲子二郎

任統監府中學校教諭叙高等官六等　陸軍步兵中尉　廣田直太郎

從七位勳六等

任統監府中學校教諭叙高等官六等　小田倉啓

任統監府中學校教諭叙高等官七等　神谷四郎

從六位勳七等

任統監府中學校教諭一級俸下賜　吉守

任統監府中學校教諭六級俸下賜　統監府屬　立石酉吉

任統監府中學校書記十一級俸下賜　統監府屬四級　總本辰一郎

●清國密漁船の出現　海塲に於ける清國の密漁船は年々數百千艘の多きに及ぶを以て其の筋にては近年是れに對して嚴重の取締を講し居れるが追々漁業の時期に近寄るに當局者は巡邏船の航行を爲さしめんと準備中なる柄早くも七八艘の密漁船は多獅島の沖合に現はれたるを以て巡邏船を急行せしめたりと云ふ

●公債特別會計現狀　韓國當局者は議に借入れたる公債の內特別會計として取扱はれ居る金の現在高は八百四十三万三千二百五十六圓六十二錢なるが今其の內譯を擧ぐれば如左

金　七六、〇八九、六二五當座預金

金四、二〇〇、〇〇〇、〇〇〇通知預金

金一、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇定期預金

金二、五八七、〇五三、五三五

大藏省預金部

金　一三〇、一一三、四六〇

香港上海銀行當座

●咸北方面署長會議　去月廿一日在京去十八日より廿二日の間に於て咸鏡北道管內警察署長會議を鏡城に於て開催したり先陣警察部長、觀察使の訓示演說あり亟て警察議案及路間數項、討議したりしが尙南津支部より中川檢事隨席し司法警察事項に就き打合すべきあり

●宮相の薨去へ吊電　宮內大臣薨去に就き二日石塚長官は統監府員一同を代表して吊電を發す

●山口縣人會發起　去月廿一日在京山口縣人廿餘名は食道樂に會合して驛人會組織の協議を爲したるか其結果最も平民的に春秋二季大懇親會を開くに決し幹事五名を擧ぐ第一回は五月一日

●兵須久氏壮別會　支店長兵須久氏は近く大垣共立銀行に栄轉するより二日正午在仁官民有志は仁川倶樂部に招待して午餐會を催せり

●鈴木局長の招宴　度支部司稅局長鈴木穆氏は五日午後六時より天翼樓に石塚長官等十數名招待の筈

●橋本新校長消息　前仁川民國立小學校長松本鍾三郎氏は今回其郷里なる大分縣日出町長に就任したりと云ふ

●獨逸漁船の出港　仁川碇泊中の獨逸漁船ホルスタイン號は芝罘に向へり

●叙任辭令　二日の官報を以て左記任命發表せられたり

任農林學校教授叙奏任官三等　吉三井

任農商工部技師叙奏任官三等　榮長篠田

任同部書記官叙奏任官一等　治策山根正次

衛生事務を囑托す　勅任待遇）

關稅局書記官　有賀光豊

命關稅課長兼經理課長

命海部課長　關稅局技師　木下重松

關稅局事務官　深尾道怒

命關稅課勤務兼經理課勤務　篠田直介

命關稅課勤務　安部

關稅局書記官

關稅局囑託　飯島柴太郎

命仁川關稅局事務官　小幡三郎

航路標識管理所技師　島重治

補航路標識管理所長

## 間島と韓民移住

北韓地方昨秋の凶作は同方面に甚大の打擊を與へ爲に人民の窮乏は一方ならず日々の生活に迄差支ゆるに至りしより間島若しくは滿蒙方面に移住を企つる者頗る多く殊に解氷の今日に於ては其傾向益甚しく牛車馬背によりて移轉地に家財を運搬を接する程の變なるが間韓民の移住は單に生活難のみに由因するにあらずして間島滿蒙方面は北韓各地に比し著しく小作料の割宜きと他韓移民に對し清官憲は便宜なる貸地法を圖ると同時多少歡迎の意向を有する等主なる原因なるが如し是に就き去地方警察署に於ては其原因及移住現狀等に就き精密なる調査を遂ぐると同時相當機宜の方法に就き講究中なりと

## 捕鯨根據地の狀況

江原道に於ける捕鯨根據地長箭洞の狀況に關し元山港關長の報告に要旨を聞くに長箭洞は從來春秋捕鯨盛期に於てのみ斯業從事者相手に二三の飲食店並に小賣雜貨店の開業を見たりしも一昨年來韓國政府保護の下に定期汽船の往復を開始するに至りてより此地方の開發を促したること少からずして以前に於て日本人の常住者は漸く一家族のみなりしに現今にては十九戶七十一名を算し滯在客數も常に十數名を下らざる見込なるものとして何人も願るものなかりし數百町歩に渉る荒蕪地の內二百町歩は前年元山里在住崔某の手に歸し彼は之を水田となさんが爲め灌漑工事を施し好結果を奏せしより元山方面に於て小作希望者を募集せしに多數應募者ある由なれば近く彼等の移住を見るなるべく隨て同地方發展に資する所少なからざるべし

薪　十貫　四十五錢

炭　十貫　七十五錢

▲公共團体　三月同地居住有志の發力にて日韓協和の衛生組合を設立せり目的は日韓人共和一致を以て同地方の發達を圖るにあり組合員一名詳細員六名內三名韓人及賛助員若干名を置く此外日韓消防組合日語學校設立に關し目下奔走中▲近郊の近狀　長箭洞より西北方約二里にして古來有名なる溫泉あり又た日本人某前年春此附近の土地五十町歩を入其一部に數千株の桃樹を植付けたるに成育良好なるに依り本年亦適當なる果樹の植付けに着手する由なれば數年後洛客を招致するの一因ともなるべし

最近の邑は高城にして同地は現在邦人在住十餘戶なるも漸次增加の傾向あり

●舞臣祭田と工學校　慶南統營に在る忠烈祠と稱せるは文祿の役水軍の提督として越名を揮ひし李舜臣の靈を祀る是に附屬する祭田も少からざりしが先年某郡守は同地に工業學校を設立せんと其附屬田を貸却せるも遂に其運に至らず現金は郡衙に保管し置く事となり往年今日に至りしが然る同地實事會の頃廉風律副會頭徐相洽の二人は先頃突然耶蘇徒と化し二人は同敎の勢力を籍り同敎經營の下に一種の工業學校を設立せんとの口實を以て該保管金の引出し方に就き種々の方面に皮肉なる運動を試みつゝありと

●湖南線と木浦民心　湖南鐵道の敷設決定に就き木浦居留民の滿足は既報の如くなるが是に就き去廿六日在留民三百余名は盛大なる祝宴を張りて賀祝を表し引續き即夜提灯行列を擧行の手筈なりしも生憎雨天の爲め一日順延し廿七日午後七時より開催したりしが會する者約七八百名に上り盛況を極めたりしが同九時頃何等異狀なく無事散會を告げたりしといふ

●定款改正認可申請　別項の如く京城商業會議所にては過般の總會に於て定款の改正を決議したるを以て本日理事廳へ認可の申請を爲したり改正の要點を擧ぐれば左の如し

一、補欠議員を廢止したる事（從來十國なりしを十五國に改めたり）

一、三級撰擧を二級選擧に改正したる事

一、定款を以て會議所內に調査部を設置することを規定したること

●東拓本社建築決定　東拓會社は京城某街に本社建築を決定し既に敷地の買收も結了せるが目下設計中に就き本年中には起工すべしと

●商會定款改正可決　京城日本人商業會議所は去月三十日定款改正に關する總會を開きたるが委員報告の通り全部可決せりと云ふ

●安藤議介氏の入京　前愛媛縣知事にして現に韓海漁業株式會社創立委員長の安藤議介氏は內田忠光氏と同伴二日夜入京天翼樓に投宿す

●警察官定員　東拓會社の京城某街に本社建築を決定し既に敷地の買收も結了せるが目下設計中に就き本年中には起工すべしと

●三上案行氏出發　入京中なりし金泉日本人會長の同氏は一日出發歸泉す

●森井判事の出發　入京中なりし森井判事は一昨一日出發仁川に向ひたり

●平渡書記官歸任　東上中の平渡內部書記官は四日東京發歸韓の途に就く

●長島平壤視察　長島平壤控訴院長は一昨一日龍山通過釜山に向へたり

●長島判事の通過　長島平壤控訴院長は一昨一日龍山通過釜山に向へたり

●平渡書記官歸任　東上中の平渡內部書記官は四日東京發歸韓の途に就く

●森井判事の出發　入京中なりし森井判事は一昨一日出發仁川に向ひたり

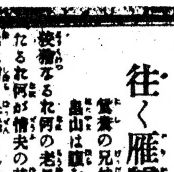
●三上案行氏出發　入京中なりし金泉日本人會長の同氏は一日出發歸泉す

▲治外法權▼　岩倉宮相の薨去は實に意外であつた、公は華胄の出であつて、溫厚にして而かも偏愛高く、政治的手腕も又備はつて居たそうだが常に宮中に隱れて晩年漸く宮相となつて間もなく其計を傳へたのは國家の一損害である、或人曰く韓太子の補育總裁になると不意に死ねると、緣喜でもない話だ▲外人宣敎師等が著書を布敎に成効するに引換へ日本の敎師先生達は一向に振はない、これに近頃は敎會內に魔風怪風吹き荒び忌はしき話を屢々耳にする即ち某幹部の妻君とドクトル某令孃と其店員面かも之等の成立は何れも協會出入から起つた事であるさうやら三面子の耳にも這入つて居る樣だ▲海老名牧師の來韓は外人宣敎師等に對して非常に好感を與へたに違ひないが、折角斯かる人物の渡韓を促す傾向から地方では小官吏が頻りに基督敎を排斥する說敎者等も亦却けられ又もや舊の如く敷地撰定も遅延し遂に適當なる地所無しといふことになれり之れを聞きたる居留民中無早の連中は煙草製造場に何の遠慮を要すべきや風塵煙草製造場は同製造業者と言迫して遂に民業を奪ひ一般の需用者をして運搬に不便にして且高價なる供給を受けしむべく騒いたるものにあらずや

場を設立し民心の在る處を觀るも非ならずとせや何ど怠慢くもあり開は現に角荷も人煙の揚る所面かも甚だ便利なる位地に此處こそ火藥場に適當なれとすべき場所を發見するは固より難事なり殊に千年万年持つたと坤輿上の地積が伸縮することも先づ有る筈の理なし隨て龍山の地積は居留民の增殖と共に漸次狹隘を感ずるに至つたが此處に恰好の地の潤いて出でんことはあるべからず去れば將來は知らず先づ今日にては龍山の玄關とも云ふべき元町四丁目と京城背葉町との境界地點に避病院を構へられたるの光榮を有する龍山に取りては避病院ほど恐ろしからざる火藥場の選定には然程の躊躇も要すまじき事なり之れ無くてはかなはぬ必要事には急場には鼻も削ぐといふ諺もあり此如も例の何とかして欲しきものなり

諸看板製作 油繪肯象書●硝子金文字入ペンキ塗工事大勉強請負 永樂町二丁目 赤門通り 椹野工舎

## 往く雁歸る雁（下）



雲霞の兄妹は破天荒の妙案 島山は嬰を抱へて涙に咽ぶ

後稽なるれ何の老婆に口說き立てられたるれ何が情夫の某は思ひがけ無き言葉に暫く呆然として居たりしが若いと自慢の一つに數へる優男とて然らば猫へ無き心の苦しみ忍びで見も角もれ言葉に從ふべしと云ひしかば女が親はしてやったりと思ふ心を色にも見せず其日は其まゝ若者を歸へし遣れ何には知る事の起りしを知らせずして爾三ヵを過ごし再び若者を呼び寄せて窮屈な勸めの身の氣も心も伸ゝする折りも無かるべし今日れ何とは兄妹の伸なれば何を遠慮することも無し朝夕は當方に來て寬ぎ給へと云ひつゝハテ心得ぬ程人の言葉と所しげに往觀する娘を見返へり初めて過ぐる日若者を說き伏せたる事の卸後を語り聞け新くなる上ふ昨日迄の情は見て取り角故めて兄妹の変りをせゝかしと婚姻はまだ二箇月の間もあれば互に兄妹喧嘩せゆやう仲好く遊べと言外に意味をもたせし老母が心をれ何は怒めしくも聞けど又朝夕遠慮なく顏見ることを許されし嬉しさに有耶無耶の中に其思を濟まし夫れより後は城法睦まし驚嘆の兄妹岡目には似合の夫婦とも見ゆる斗りなるを若者が身の行狀を監督する向きの人々聞きて捨て置けずと或日女を呼出して問礼したるに女は衆ねて期したる事なれば彼の方とは既に關係を斷ちて今では赤の他人で無うて眞實の驚嘆の兄妹其の證據は此の通りと其以前老母に迫られて全偽無く取り交はしたる絶縁の一礼には「但し何事一度嫁ぎ候ども高一離縁となりて實家に復歸したる節は屹と」相違無く兄妹を止めにして夫婦に相成るべき事」とて飽までも恐ろしき程入念の證書をば取出して見せければ係りの役人も顏を抱へて涙に咽び咸心し其まゝ放ち遣へ夕老婆は今が潮時と獨り打點頭きつゝ直ちに嬢君方へ変渉して密かに婚禮の準備を調へ明日は急ぎ式を挙げるといふ今背若者を呼びで向後萬一の誤無き樣念しつ泌み〳〵と驚嘆の兄妹に名殘を惜ましに其時二人は向堅く絶縁狀の但書きをば復習しつ例へ遠く分れて住びとても二人が心の變らぬしるしとはとわたる雁にことづけて切めてもの心遣り其玉章の數積るを見て離縁れて歸へる日の近づきしを知るよりがともせんと曾ひれ何は其翌日滯り無く婚儀を濟ましれ夫に伴はれ何州どやらへ旅立ちしが去る程にさても其後れ何は新夫に愛され何不足無く暮らす中にも離縁れて歸へる日の待遠く春も秋も唯一時に感つてくれかしと思ふ心の天に通せよとてかを季節も分かぬ雁が昔は飛ひで往來の扱ても繁しとか（たはけ）

## 刺客三名の東上

▽統監府鈴木警部の東上

去る三月十一日長崎に上陸したる三名の怪しき韓國人あり、彼等は刺客團の一分子にて注意すべき人物なりとの事に其筋にては直に刑事巡査を尾行せしめて其行動を內偵せしめし所其一人が李某と稱する外は少しも判明せず中國から東海道に向ひて十六日午前八時頃横濱驛通過の新橋行大急行列車に乗込みたる旨急報ありたれば濱松署にては靜岡縣廳の命により若林警部長、佐藤巡査の二名が尾行したるに三名の中一人は日本服他の二名は洋服にて二等室より三ヵ日の三等車に飛込み居り時々何事とか密談をしては呵々大笑するのみ何事を目論見居るや發見する事能はざる中に汽車は國分津に着き途に其の踪跡を失したるに彼其筋にては爾來嚴重に其上京の目的及所在探偵中なりしが其後

## 調査の結果

右三名の韓人は京城住関忠村（三）申辛均（三）鄭嘉駿（三）なること判明するに至れり彼等は六七歳の頃より敎治に熱中し菊地博士を狙ひたる

## 刺客

と同じ排日派なりとのことなるが此の報に接したる

## 統監府

にては第二課訊問係り

## 鈴木警部を秘密

## 搜索

の急遽

## 東上

せしめたるが同警部は二十八日午後一時靜岡に立寄り同縣高等警察部と打合せの上直に上京したるが三人共刺客たるは疑ふべからず何れも油斷なり難き危險人物なれば目下嚴重に所在搜査中なり

## 韓人の頭をた刺肉

▽にせんとして捕はる

仁川花町三丁目飲食店菊之屋事福家秦一郎內縁の妻島井さき（三四）と云ふが一昨日午後七時頃同店屋人なる濟川島生れ安率天（三）の頭部左傍に刺肉庖丁にて長さ一寸五分位の創傷を負はせたる旨急報に接し花町派出所より神巡査出張して出關べしに被害者安が何處にて捉まられ時も十二時過ぎの安眠妨害の為設敎散々に罵され先つきの酔ひも何處へやら青くなりて平飛まりに跪つて

## 女振り

森川かねか女

上の女として獻々に附せず安を捕へて强其儘歸りませうとはても世話の燒ける嗅ア共かな

●觀世素謠月並會　來る七日（木曜日）正午後六時より京城婦人會々場に於て催しあり、來賓隨意猶ほ當夜の番組は左の如し

△張良（山口氏、菱谷氏）△舅顧元笹部氏、保昌井上氏、森氏）△鐵輪（三野氏、佐々木氏、男田本氏）△花月（神吉氏、山口氏）△當外（佐々木夫人、千勝氏、安住氏、竹官花田氏、愛房栗並氏、鷲尾福垣氏）

●京城玉突大會　京城大和町一丁目河內屋玉場に於ては二日三日四日の三ヶ日間大競技會を開催する由なるが特點は百五十點迄とし一等賞米國製自轉車一臺二等賞上等煙草一箱、三等より十等迄夫れ〳〵賞品あり賞任賞は一等より三等迄とし會費一圓五十錢出直し五十錢なりと定めし盛況を呈せん

●韓人の掴み合ひ　南署水同稽住併商吳昌植（三）及び同署小公洞住金德仕（三）と云ふ韓人は一昨一日打、運れて小公洞の酒幕朴鶴煥方へ這入り込み散々腹ら飲酒の果て遂に兩人間に掴み合ひを始め結局其筋の御厄介となりて目玉一圓五十錢出直し五十錢なりと定めし盛況を呈せん

●優等朝顏種子分讓　長野縣下高井郡延德村篠井通二丁目梅月園朝顏部は多年該花の培養に苦心を凝したるが今回地方の同培諸士より高逸の稱褒を博せられ殊に牡丹咲、菊咲、九咲、雀咲、章咲、手長檜梅咲、耕綿七福葉菊咲、亂菊獅子咲、立田咲、咲別、茶筌咲、孔雀咲、獅子咲等斯界に稀なる奇品大輪咲のみ十六種色各種別袋に花好同士は一組に付實費壹圓旁三十錢を送らば詳細なる人工媒夫法を加ふるに洋種麝香撫子石竹十種類添へ速に送種すと

●觀世素謠月並會　來る七日（木曜日）正午後六時より京城婦人會々場に於て催しあり、來賓隨意猶ほ當夜の番組は左の如し

△張良（山口氏、菱谷氏）△舅顧元笹部氏、保昌井上氏、森氏）△鐵輪（三野氏、佐々木氏、男田本氏）△花月（神吉氏、山口氏）△當外（佐々木夫人、千勝氏、安住氏、竹官花田氏、愛房栗並氏、鷲尾福垣氏）

●鳴アの口三絃　本町通り七丁目袁の增田さん（二）と云ふは一昨一日夜連れの女と三人打揃ふて京城座見物に出懸けたるが芝居も濟んでの歸り途寒さ凌ぎにて其處等のうどん屋に立寄りて燗瓶の三四本がもの引っ懸けて微醉ひの上機嫌となり三人ながら口三味の調子も邊り構はぬ高聲にて七丁目の四つ辻を左に曲らうとする出合頭ばつくり現はれたる巡りさんに引っ捉まられ時も十二時過ぎの安眠妨害の咎で說敎散々に罵され先つきの酔ひも何處へやら青くなりて平飛まりに跪つて「先づ己に死せよ復活すること」午後七時半より傳道說敎橋本金太郎氏の「懷疑者」何れも參聽隨意

## 諸國盆踊唱歌評（五）

▽普流行の唱歌でムる

▽花も實もある優しさ

山城の都

「しゆすの袴の襞どるよりも

さまの機織の取り惡〳〵さ」

「さまの襞姿今朝こそ見たれ

さつき野に開く百合の花」

「こなた思へば野もせも山も

やまもはやしも知らで開く」

「山に開く花嵐がぞくよ

わしは君さま見るが嬉」

頭取「一括して附箋します 藤「不可ねね不可ねね……通「差し支へはげねせん一も不解の所なきのみか何れもスラ〳〵と云ひ切つてありやす撮は頭取の所置を當を得たものと信じて藤四郎先生に反對しやす 敎士「異議なし〳〵 聚口「多數黨の横暴も此所に至つて極まれりだ 頭取「御異議が御座いませんければ明日の日程を報告致させます 書記「大和の都

## 團の一分子

にて注意すべき人物なりとの事に其筋にては直に刑事巡査を尾行せしめて其行動を內偵せしめし所其一人が李某と稱する外は少しも判明せず中國から東海道に向ひて十六日午前八時頃横濱驛通過の新橋行大急行列車に乗込みたる旨急報ありたれば濱松署にては靜岡縣廳の命により若林警部長、佐藤巡査の二名が尾行したるに三名の中一人は日本服他の二名は洋服にて二等室より三ヵ日の三等車に飛込み居り時々何事とか密談をしては呵々大笑するのみ何事を目論見居るや發見する事能はざる中に汽車は國分津に着き途に其の踪跡を失したるに彼其筋にては爾來嚴重に其上京の目的及所在探偵中なりしが其後

## 調査の結果

右三名の韓人は京城住関忠村（三）申辛均（三）鄭嘉駿（三）なること判明するに至れり彼等は六七歳の頃より敎治に熱中し菊地博士を狙ひたる

## 刺客

と同じ排日派なりとのことなるが此の報に接したる

## 統監府

にては第二課訊問係り

## 鈴木警部を秘密

## 搜索

の急遽

## 東上

せしめたるが同警部は二十八日午後一時靜岡に立寄り同縣高等警察部と打合せの上直に上京したるが三人共刺客たるは疑ふべからず何れも油斷なり難き危險人物なれば目下嚴重に所在搜査中なり

●韓人の頭をた刺肉　▽にせんとして捕はる

仁川花町三丁目飲食店菊之屋事福家秦一郎內縁の妻島井さき（三四）と云ふが一昨日午後七時頃同店屋人なる濟川島生れ安率天（三）の頭部左傍に刺肉庖丁にて長さ一寸五分位の創傷を負はせたる旨急報に接し花町派出所より神巡査出張して出關べしに被害者安が何處にて捉まられ時も十二時過ぎの安眠妨害の咎で說敎散々に罵され先つきの酔ひも何處へやら青くなりて平飛まりに跪つて

## 女振り

森川かねか女

上の女として獻々に附せず安を捕へて强其儘歸りませうとはても世話の燒ける嗅ア共かな

## 目と耳

▲京城座　同座本晩は京城日報社の慰安會なれば休演明四日は新劇團韓ピストル强盜刑事殺しの演題に於て開演する由

▲浪花館　同館にては菊丸一座大連へ乗込みの御禮として卅一日より向ふ一週間木戸場代共無料にて開演する由

其の觀物は

佐野鹿十郎（廣澤菊八）加太彌太郎（吉田壽九）此村大吉（廣澤菊逸）忠孝壽俠（廣澤菊九）大歧官員小僧義政（吉川今勝）

▲仁川歌舞伎座　同座にて近年になき大好評を博しつゝある伊東劇今晩の番題は同一派の最も得意とする「愛と義」にして明晩は「花と茶」を出演す

## 今日の運勢

四月三日　舊二月廿三日　二黑　赤口　戊戌　危△一白　衰退　助力　世話事を禁ず　△二黑　疑惑機を逃るるあり　酒色慎む

客を城しむ△三碧　懈怠に流れ易き日　又歳樂に沈溺する勿れ△四綠　金品授受取引計算上に紛爭あらんと又間違多し△五黃　保證世話事を禁ず　家族從者より煩累を受くる勿れ△六白　威情の疎隔を惹起し易し其他快欣の日なり△七赤　登山の日とす　婚姻入學門就職仕官會見等に良好△八白　慶運故革計算等に良好使用人家族のため煩累を受くる勿れ△九紫　盛運なり開業創業相談談合等に良好但し硬急促進に馳す勿れ

四月四日　舊二月廿四日三碧先勝己亥成△一白　機轉替方針替移轉旅行図概し平穩なり　金屬に關する業務には良好△二黑　間違易き日なり　締約集團結社△三碧　新事見合の事変際取引上斯実破れ碧　新事見合の事変際取引上斯実破れ△四綠　平靜の川なり　旅行移轉命名披露入學門婚姻に忌む△五黃　惡願若くは要求に応じ　盛寄若くは遺失を防ぐべし△六白　勧誘推奬の事に儲くなかれ保證受印を禁ず　新事見合の事△七赤　締約取引賣買貸借事紛擾に陥り易し　盛害紛失防ぐべし△八白　勢して効なき日なり　金談相談締約は可成之を避くべし△九紫　會心い日なり大抵吉養子婚姻舟下し命名入學門等に大吉妙（本町五丁目三一館料斷）

●天鼎雜報（自二日午後六時至三日午後六時）

一日（華氏）最高溫度四六、〇　最低溫度三一、五

## 廣告


會員募集廣告

今回新學期開始ニ付キ入學志願者ハ四月十日迄ニ願書ニ履歷書ヲ添ヘ差出シレタシ

募集人員　甲組三十名　乙組六十名

授業開始　四月十二日ヨリ毎日午後七時ヨリ九時迄

郵券二錢送附ノ方ニ規則書ヲ送附ス

京城大和町東洋協會學校內

韓語講習會

●仁川稅關縱脚棧橋警燈臺及警燈建設工事右四月十八日入札ニ附ス（建築所）

清酒

入院隨意

內外科　皮膚梅毒淋病　婦人科

醫山老松町上田病院

世氣醫院（電話一二八番）

院長　世氣敏

名し道樂

鋼　松たけめし　一人前三十錢

あなご　竹の子めし　たなしく

鶏　ゑんどうめし　たなじく

豫てたなじみの大阪美人、御光來の程を待ちかねて居りますから、御賞味を賜はりたう、尚は多少によらず出前も仕ります、與々ゝ御用命伏して御願申上げます

大和町三丁目　梅の家眞向ひ　電話七三五番

明月

御斷り

四月五日家內の者慰勞の爲臨時休業仕候

京城壽町二丁目

食道樂

電話九四四番

朝鮮

第二十六號（四月號）

定價　一部十錢　五箇月一圓　年五十錢

▲朝鮮合併問題……釋尾旭邦　▲朝鮮の耶蘇教問題……釋尾旭邦　▲朝鮮人の思潮と傾嚮……日韓諸名士　▲朝鮮人士の對日感相……日韓諸名士

研究

▲日韓合併論に就て……伯爵林董　▲韓國に濟民院を興すの議……髙原坦

文學博士

名流談叢

▲韓人著作物に就て……法學士淺見倫太郎　▲文學士河合弘民　▲官吏の切磋に對する頑徳……警視今村柄　▲日韓南國語同系の一特點……間宮龍眞

雜纂

▲奉邦談片……東京髙原博士　▲業界工業傳……更田信彌　▲朝鮮に於ける醫術の開拓……大韓病院某醫官

文藝

▲濱の家……東京横田黃涛　▲山上放吟……東京兒玉花外

實業資料

▲朝鮮合併問題……釋尾旭邦　▲朝鮮人士……▲韓國立國の根柢……島貫兵太夫　▲經濟立國の根柢……山下南海

奮鬪錄

▲朝鮮雜誌社……電話番號二二五〇　振替傳國一三一

日韓書房……電話番號一四五

▲朝鮮に於ける日本人と各種產業……韓人の舶來品及日本雜貨に對する嗜好の傾向

●短歌……分衣……しげ子　●俳句　●新詩

發行所　大賣捌所　韓國京城本町九丁目　韓國京城本町二丁目

美術半襟帶締其他紐類各種 京城明治町一丁目 電話一千四百〇九 ふり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●綿屋度 三十四歳實物取扱及通關手續に熟練あり多少英語を解す會社又は商店雇官衙を望む

●曇國 野菜類 協同者を求む但し經驗ある確實なる人 電話一二四二番方 ないとう

●書生採用 甘歳以下確實なる保證人ある者を求む 旭町二 堤法律事務

●店員入用 甘歳內外保證人を要す 龍山元町三丁目 日韓組米店

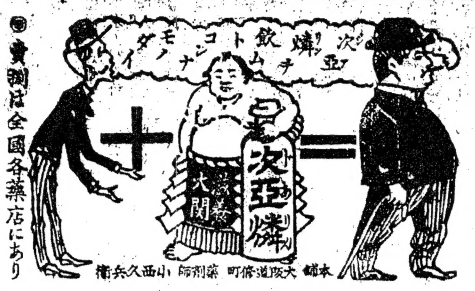
●女屋入 家中手傳又女中入用給料普通以上確に依り勉學餘暇を與前九時迄後五時、來純あれ永樂町二の九二伊藤

物件部

●電話買入 (姓名在社)

●ポインター種犬牡一頭歸國に付格安賣る 姓名在社

廣告




一大營養新藥 人體の肥料 牛乳の數倍

●貴側は全國各藥店にあり

本舗 大阪道修町 藥劑師 山西久兵衛

電話一八二番 志ちや

會高の名譽に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず賀物は可嘗に取扱極めて安全に一定の場所に保管す

京城 曙町 大槻商行賀部

滋養品と雖も場所の許す限り可成長期間大切に留保し萬遺漏なき之期す

三 三 館 京城本町五丁目 二一一

焦心苦志多年爲斯種於溜飲奥旨恍然似有得者難膨脹隱鬱壅塞面輕微也 易膨脹 相敵授 土御門派大陰陽師 磐主

胃腸新藥 タカヂアスターゼ 韓國總代理店 仁川本町二丁目電話八五〇番 竹田津三平

明治廿年七月創立 京城代辦店 本町四 山口奥服店 電話九番

東京海上保險株式會社 資本金一千萬圓 串務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

生徒多年在京都帝國醫科大學耳鼻咽喉科教室に勤務能

和辻博士の下に研究致し居候處今回左記の處に於て斯科患者の診療に從事致し候

耳鼻、咽頭、喉頭氣管病

診療時間 午前九時至午後七時迄

旭町三丁目(三日月旅館上)

前濱城病院耳鼻咽喉科部長 石田耳鼻咽喉氣管科醫院

電話開通 石田誠 一七〇九番

醫學博士 和辻春次 京都醫科大學

今般石田誠君貴地に於て開業致候間小生同樣御眷顧被下度候

醫官衙御用品調達

營業目科

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類

委托販賣

東京ランバーグ商會代理店 東京中外アスファルト株式會社代理店 東京千代田生命保險相互會社代理店 東京博文館發行書籍特約店 東京金港堂發行書籍特約店 東京蓋鹽合資會社食鹽特約 藤田合名會社

本社 東京(電話明治二三〇三番) 出張所 東京南鍋町一丁目 東京橋新橋二丁目 東京地電十番

美術書畫 襖、壁、天井張 京城春町一丁目 桂萬吉 (電話六二七番)

諸荒物世帶道具一切 其他和洋蠟燭 アサヒ サッポロ ビール 糯白米

右大勉強仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候

日用雜貨 卸問屋 西崎嘉七本店 京城本町六丁目 電話二一〇 電報(ニカ) 振替貯金口座韓七番

御紋上繪、染物、洗張、西洋洗濯 ものし、しみぬき、かけつぎ 京城古市町 京染 悉皆取扱 葉書にて御一報被下候へば早速店員能出精々御便宜に御取扱可申候 主任 島田嘉吉 京屋

目科業營品雜略概

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

和洋帳簿 文房具學校用品 諸紙類 卷紙封筒手帳類 帽子洋傘クツ鞄 洋服附屬品一式 メリヤス類 毛布膝掛馬車掛 石鹸香水齒磨類 タオル ハンカチ 手袋杏下袋物類

正札 官衙、陸軍 銀行、會社 御用達 京城本町四丁目

引 池田長兵衛 電話二百〇六番

和洋雜貨 卸小賣商

●京城市內の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●

待合貸席 松家 電話千三百九番 京城 本町八丁目横入初音町

開業御披露 今般左記の處に開業致し粹樣方の御來車を待申候 京城本町八丁目横入初音町

京城南山町(元日本人倶樂部事)

京城ホテル 長電話 電話四九二番 (電話一二三一番)

大 自製 和洋酒(各種)醋、穀物麵類、銘茶、鑛詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、鰹節、塩辛、日本酒各種特約販賣 御望に依り商品切手調進仕候

特約販賣 大上商店 (電話一二五一番)

味噌醬油製造元 濱物問屋 京城本町五丁目

貸席 鐵泉 冷温泉 京城本町六丁目郵便局前 ドクトル 中村安子 (鐵そば横町)電話一五八三番

齒科治療

きゝめのある温泉湯

此の溫泉は左の如き病に最も妙なり 一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りんよこぬ、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他內用には鐵冷溫泉を用すれば尤も効能あり

京城本町一丁目郵便局前 貸席 鐵泉 冷溫泉 電話千四百十一番

内外科入院隨意 京城壽町三丁目 高井醫院 電話(二二六) 院長陸軍軍醫正 高井貞治

小兒病 梅毒淋病

滋養と牛乳

馬車純良 牛乳配達 京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番

衛生と消毒

入院隨意 京城壽町三丁目(電話三七八番) 中島醫院 院主醫學得業士 中島貞信

即席吸物 經濟無比

●即席吸物は味の素より御手輕で風味善き品々一包に只煮湯を注げば速席御馳走が出來ます

●不意の御來客の時は最も上品な美味輕便の吸物で奥樣始め御調身の御方には至極宜敷料理であります

●論より證據一度御使用の上御試しあらん事を偏に願上ます

一袋十人前入 金十五錢

●各日用食料雜貨店に販賣致します

●御賣は特に御相談に應じます

●御一報次第多少に不拘持參致します

●遠隔の地は御報次第小包で送ります

即席吸物 韓國發賣 元㊥砂本支店 (電話七一一番)

眼科專門 京城本町一丁目憲兵分遣所前 江頭眼科醫院 前濱城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄 (電話三三一番)

京城西小門通六番戶 入院隨意 電話改番 菅醫院 一三一五

今般擴張の爲左の處に移轉付一層大勉强致候間多少に不拘御用仰付被下度願上候

移轉廣告

履物商 龍山榮町元井商跡 遠山商店

京城光化門通 淺田洋服店 店主 大廣幸藏 (電話四百十三番)

胃腸消化新劑

鐵粉 消化劑 蛋白脂 消化劑 ヂヤスタリン ヂゲスチン

錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢 散劑十日分(三十瓶入一瓶)三十錢 散劑一オンス入(一瓶二圓四十錢)

右は最近內地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候

各地有名なる藥店に於て販賣す

●大韓醫院御用藥 韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

京城明治町二丁目(佛國教會前) 辯護士 特許辯理士 岩田仙宗 電話三五四番

神戶資生分院 ◎花柳病專門並痔(注射療法) (電話一二九四) ●入院隨意● 院長 醫學得業士 淺田弊平

京城梅毒病院

京城相生町(南門湯橫)

值上廣告 一部一圓八十錢

韓語大成 從來一部一圓五十錢の處今回紙數百余頁を加へ改正增補致候間前記の通り値上候也 京城本町五丁目 釘本藤次郎本店 長電話四五番 振替貯金口座韓國二五六番